

全国IT部活活性化プロジェクト



Produced by Shibaura Institute of Technology Junior and Senior High School

上の写真は、経済産業省のホームページに掲載されているページです。

経産省 と コラボ



電技研のテーマは「貢献と研究」

経済産業省と電子技術研究部のコラボ

経済産業省とのコラボレーションが始まったのは 2017 年の冬。経産省の担当者が本校電技研のホームページを見たことがきっかけだった。

IT 人材の不足

我が国では IT 人材の不足が喫緊の課題となっており、2030 年には 78.9 万人もの人材が不足するとの推計が出ている。こうした状況を踏まえ、経産省では、

という訳で、経産省は、IT 系の部活動を応援しようというプロジェクトが進行中だという。そこで、全国の中学・高校を回り、IT 系の部活動取材しているところに、たまたま本校の電技研のホームページを知ったという。

ページにするか?」「IT 系の部活が活性化するためにはどうしたらいいのか?」というような話し合いやワークショップが開催された。本校からも電技研部長の高橋君、副部長の内田君、新部長の向永君、新副部長の勝藤君と木村君が参加した。電技研部員は、最初からいろいろなアイデアをポストイットに書き込み、ある程度たまったところで、分類していくなど、生徒らが真剣にこの問題に対して考えている姿が印象的だった。



電子技術研究部部員約 160 名

活動テーマは「貢献と研究」

電技研の最終的な目標はワークショップをできるかどうか?つまりどういうことかということ、普段は、それぞれのグループで研究をする。研究テーマは多岐に渡り、電技研会議で顧問から承認されればその研究をすることができる。審査基準は、一つ。「この研究をすることで電技研や芝浦にどう貢献できるかどうか?」。

どんな研究があるの? (主な)

- 1) 3DCAD と 3D プリンタによる開発
- 2) 無人飛行機の製作と移動制御の研究
- 3) Unity3DSTG 制作/ゲーム開発
- 4) WRO における攻略本の作成と出版
- 5) ワークショップの指導法の研究
- 6) JavaScript ライブラリーの作成
- 7) iPhone アプリの開発
- 8) 国家資格 IT パスポート取得講座
- 9) Web デザインに関する研究
- 10) ロボット制御プログラミングの研究

なぜ研究をしているのか?

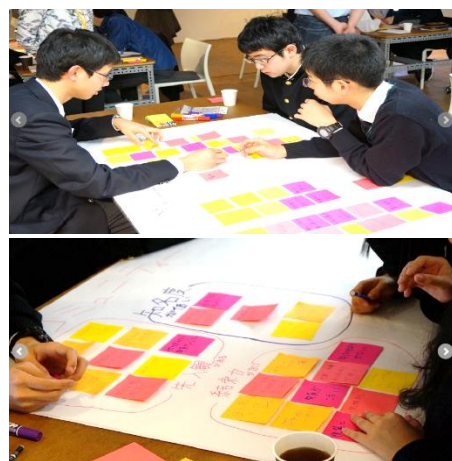
「内発的動機づけを大切にしています。生徒らがこれをやりたい、追求したい、楽しい、面白いと思えることが大事なことでと考えています」と顧問の岩田先生。



電技研のホームページ

IT 系部活プロジェクト

早速、本校の電技研を中心として、全国から集まった生徒らで、「どんなホーム



現在もプロジェクトは継続中

何度も話し合いを重ね、電技研の内田君を中心に制作したものが、今年4月に経産省ホームページからアップされた。